

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 日常生活に見られることばの使い分け

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-06-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小磯, 花絵 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00003412">https://doi.org/10.15084/00003412</a>

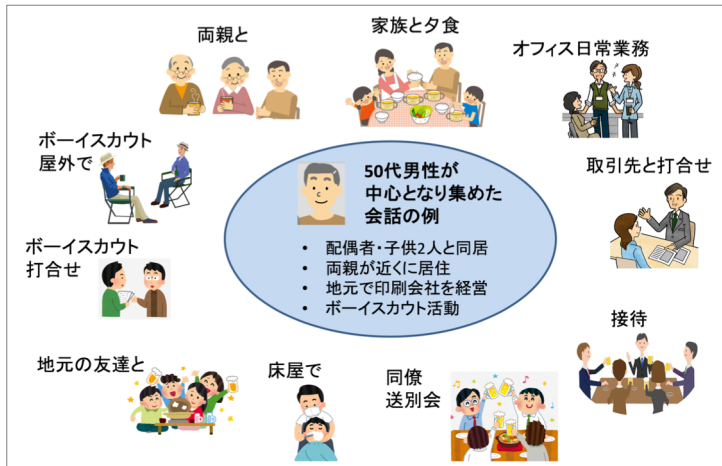


# 日常生活に見られることばの使い分け

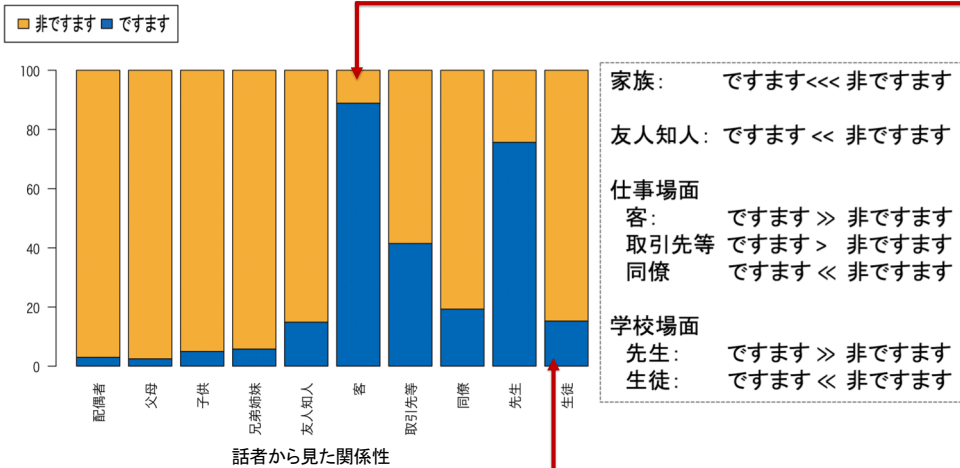
## 小磯 花絵 (音声言語研究領域)

### 日本語日常会話コーパス(構築中)

- 対象: 日常場面の中で自然に生じた会話200時間(うち50時間の会話をモニター公開中)
- 設計: 話者の属性や場面などの観点から多様な会話をバランスよく納めたコーパス
- 規模: 語数210万語, 会話数450会話, 異なり話者数900人・延べ話者数1500人(推定)
- 収録方法: 調査協力者40名の方を中心とする様々な場面・様々な人との会話を収録
- 収録機材: ビデオカメラを用いて映像データも収録することでリアルな日常会話を記録



### 相手によってことば遣いはどうかわる?



#### 先生はどのような時に学生に【ですます調】を使う?

- 学生に対する指導場面(講座企画について) → 【非ですます調】

学生: でも若干変わったじゃないですか。  
学生: あの先生の振り返りとかでなくなりました。  
先生: あああああ。  
先生: それはどっちでもいいよ。 **非ですます調**  
学生: そうゆうのは伝えたほうが。  
先生: うん。どっちでもいいかな。 **非ですます調**  
学生: まずはその四人でやってもらうってゆうのも;  
学生: どっちから伝えたほうがいいですかね。

- 脱線して男子学生と他の企画メンバー(女子)の印象について → 【ですます調】が交じる

学生: でもみんなあれですね。  
学生: キャラってゆうとあれかもしれないけど。  
学生: 違いますよね。  
学生: 全然色が違うので。  
先生: ちょっと: 僕はもう真帆ちゃんお気に入り。 **非ですます調**  
学生: いやでもわかりますけど。  
先生: あ: なんなんかわからないか。 **非ですます調**  
学生: わかります。 わかります。  
先生: その顔。うーん ごめんな。 **非ですます調**  
先生: その美人かどうかって別として:かわいらしいです。 **ですます調**  
学生: かわいいですね。



#### 店員さんはどのような時にお客さんに【非ですます調】を使う?

- 接客の場面(注文を受けている場面) → 【ですます調】が主

店員: (U失礼)します。 **ですます調**  
店員: 五本目のハツです。  
客3: はい。  
客2: (Uどうも どうも)。  
客2: あっ。うわー。  
客1: うわー 最後に来た。  
客3: あっそっか。  
客2: まあ。  
客1: やったー。  
客3: 頼んでたか。  
客3: おいしょ。  
店員: こちらで以上です。 **ですます調**

- 接客の場面(注文を受けている場面) → 注文の繰り返しは【非ですます調】が多い

客1: あっ 生ももらえますか。  
店員: はいはいありがとうございます。 **ですます調**  
客1: あっ 二つかな。  
客3: どうしよっかな。  
客3: いや ちょっと待ってください。  
客2: 生二つで。  
店員: 二つ。 **非ですます調**  
店員: はいはいはい。  
客3: あっ 梅干しサワー。  
店員: 梅干しサワー。 **非ですます調**  
店員: はい。  
店員: ありがとうございます。 **ですます調**

- 非接客場面(カメラに気づいて客に語りかける) → 【非ですます体】に切り替わる

店員: えー。何:これ。 **非ですます調**  
客4: え。  
客1: ちょっとね。  
客3: もう 当然の 当然の疑問ですよ。  
客1: あー。まあまあまあまあまあ。  
客2: 確かに 確かに。  
客3: 当然の疑問ですよ。  
店員: びっくり。  
店員: さっきから気になっちゃって。  
店員: かわいい。これ。 **非ですます調**